

令和6年度「隠岐広域連合地球温暖化対策実行計画」の取組結果について

1. 計画の概要

隠岐広域連合では事業活動に伴い排出される温室効果ガスを削減するため、「第4期隠岐広域連合地球温暖化対策実行計画」（令和4～令和8年度）を策定し、対策に取り組んでいます。※この計画における温室効果ガスは二酸化炭素（CO₂）としています。

■令和6年度の取組結果は以下のとおりです。

（単位：t CO₂）

	令和3年度 （基準年度）	①目標値 （削減△18%）	②令和6年度 （実績）	目標値比較増減 （②－①）	前年度比較増減 （当年－前年）
二酸化炭素	2,808	2,303	2,390	87	△30

2. 温室効果ガスの排出状況

1) 主要項目別取組結果

■主要項目別では、廃棄ゴミ類以外における CO₂の排出量が目標値に比べて増加しています。

（単位：t CO₂）

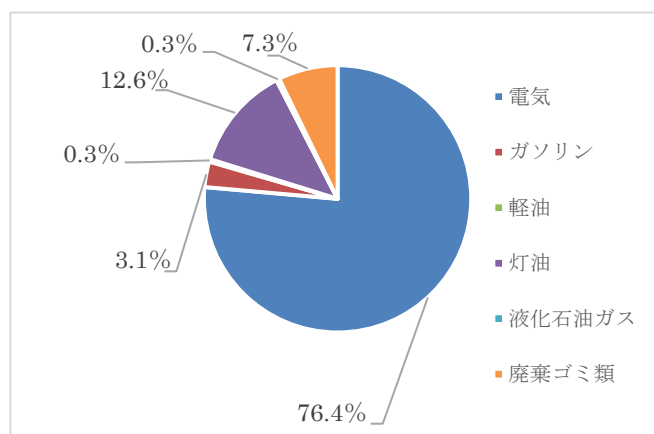
	令和3年度 （基準年度）	①目標値 （削減率△18%）	②令和6年度 （実績）	目標値比較増減 （②－①）	前年度比較増減 （当年－前年）
電気	1,771	1,452	1,826	374	△108
ガソリン	34	28	74	46	36
軽油	8	7	7	0	1
灯油	310	254	302	48	4
液化石油ガス	9	8	9	1	0
廃棄ゴミ類	676	554	172	△382	37

2) 要因別温室効果ガスの排出割合

■排出割合を見ると、電気が76.4%と前年度に引き続き全体の約8割を占めています。

（単位：t CO₂）

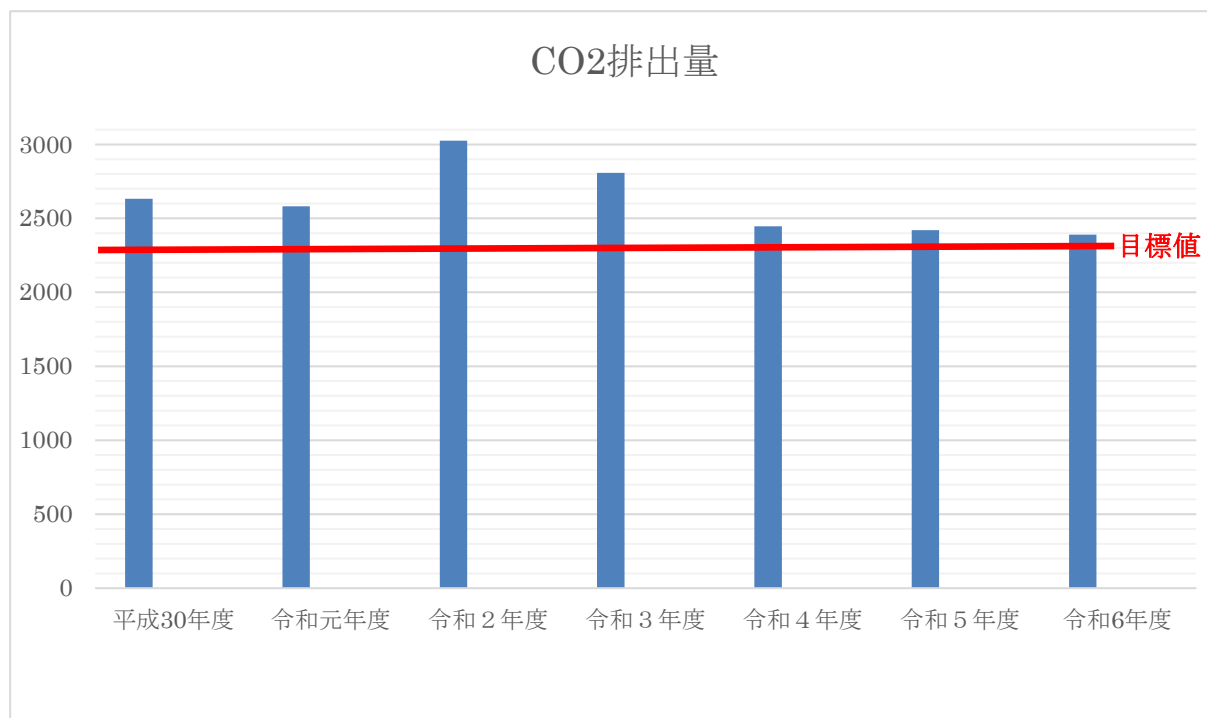
	令和6年度 （実績）	割合
電気	1,826	76.4%
ガソリン	74	3.1%
軽油	7	0.3%
灯油	302	12.6%
液化石油ガス	9	0.3%
廃棄ゴミ類	172	7.3%
合 計	2,390	



3) 取り組みの推移

■令和6年度は前年度と比較して 1.2%の減少、目標値と比較して 3.7%増となっています。

(単位: t CO₂)



3. 取組結果の状況

隠岐広域連合の温室効果ガスの総排出量は、前年度に比べ若干減少し、目標値に近づきつつあります。

目標値へ到達できなかった要因としては、前年度、重点的に取り組んだ節電により、電気部門の CO₂ 排出量は削減できたものの、ガソリンや廃棄ゴミ類による排出量が削減できなかったため、わずかに到達できなかったと考えられます。

4. 今後の取り組み

令和6年度の温室効果ガスの総排出量は、前年度に比べ減少させる事ができました。しかし、目標値にはまだ届いておらず、未だ CO₂ 排出割合のほとんどを占める電気部門においては、引き続きエコオフィスプランの推進や節電に努め、地球温暖化対策への意識を強く持ち、光熱費等の削減に取り組んでいきます。